



CTS500 のエクスペリエンス検証



Cisco TelePresence システム 500 の エクスペリエンス検証

**Essential Operate Service のエクスペリエンス検証プラン
バージョン 1.0**

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

目次

目次	3
本書について	5
目的	5
対象読者	5
前提条件および警告	5
関連資料	5
エクスペリエンス検証プランの概要	6
エクスペリエンス検証のテスト ケース	8
Physical logistics (物理的ロジスティック)	8
テスト ケース A1 : ユニット 配置の検証(距離)	8
テスト ケース A2 : 参加者の位置の検証(着席位置)	9
テスト ケース A3 : カメラ調整の検証	10
コールのスケジュール	10
テスト ケース B1 : Cisco TelePresence コールをスケジュールできることを 確認する	10
テスト ケース B2 : スケジュールされた会議が IP Phone に送信されることを 確認する	11
コール処理	11
テスト ケース C1 : IP Phone の「 One-Button-to-Push」機能を使って、 スケジュールされた Cisco TelePresence コールを発信する	11
テスト ケース C2 : Cisco TelePresence セッションに、別の電話ユーザを 参加させることができるか確認する	12
テスト ケース C3 : コールを保留にしてから再開できることを確認する	12
テスト ケース C4 : 別の Cisco TelePresence ユニット にアドホック コールを 発信する	13
機能のテスト	13
テスト ケース D1 : Auto Collaborate Presentation (自動コラボレート プレゼンテーション) が画面に正しく表示されるかどうかを検証する (Picture in Picture の検証)	13
オーディオおよびビデオの品質	15
テスト ケース F1 : オーディオ品質の検証	15
テスト ケース F2 : ビデオ品質の検証	15
コール統計情報の検証	16
テスト ケース E1 : コール中にコール統計情報を収集する	16
テスト ケース E2 : システムからログ ファイルを収集する	17
付録 A	19
コール統計情報収集の手順	19

用語集.....	20
承認欄.....	21

本書について

目的

本書は、エクスペリエンス検証プロセスでの最終的なチェックポイントの1つとして、Cisco TelePresence™ 500 システムがお客様の環境で適切に導入されていることを確認するためのものです。本書には、インストールおよび設定が正しく完了した後で確認すべき項目や実行すべきタスクのリストが記載されています。この検証により、システムが想定どおりに機能していることを簡単にチェックできます。

対象読者

本書は、お客様の環境における Cisco TelePresence 500 システムのインストールと導入の担当者を対象としています。たとえば、シスコの担当者、Cisco Advanced Technology Partner、あるいはお客様側の IT エンジニアなどが該当します。

前提条件および警告

本書は、Cisco TelePresence 500 システムの組み立ておよび設定が完了していること、およびこのシステムがお客様の Cisco® Unified Communications Manager クラスタに登録されていることを前提としています。さらに、会議室がお客様の calendaring application（カレンダーリングアプリケーション）においてプロビジョニングされており、かつお客様のグループウェアと Cisco TelePresence Manager Application にそれぞれ適切に統合されていることも前提条件です。

関連資料

必要に応じて、お客様の環境における Cisco TelePresence の導入に適用される各種設計書を参照してください。また、Cisco TelePresence 500 System Pre-Deployment Questionnaire、および回答書も参考にしてください。

エクスペリエンス検証プランの概要

エクスペリエンス検証プランは、Cisco TelePresence 500 システム向け Essential Operate Service のエクスペリエンス検証部分における最終手順の 1 つです。このプロセスの既定の目標は、主なチェックポイントをいくつか導入ライフサイクルに追加して、基本的なチェックおよび検証を実行できるようにし、ユニットの導入と操作が正しく行われる可能性を高めることです。

すべての質問が適正に回答され、またすべての必須推奨事項がタイムリーに実行されるためには、Cisco、ATP、およびお客様との間に緊密なパートナーシップが存在しなければなりません。

本書での確認事項は、システムが想定どおりに動作していること、およびエクスペリエンスが最高水準を維持していることを検証するための、基本的な承認テストプランとして作成されたものです。

このテストプランの適用範囲は、次のとおりです。

- Physical logistics (物理的ロジスティック)
- コール スケジュールリング
- コール処理 (長期的な安定性を確認するために、ある程度長い期間のコールを発信する)
- オーディオおよびビデオの品質
- 機能のテスト
- コール統計情報 (ベースラインを取得後、コールを何回か実行してベースラインと比較する)

テストの結果は、表 1 にまとめてください。

表 1 導入後チェックの集計表

テスト番号	テストの説明	合格 / 不合格の結果
Physical logistics (物理的ロジスティック)		
A1	ユニット配置の検証 (距離)	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
A2	参加者の位置の検証 (着席位置)	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
A3	カメラがインストラクションガイドのとおり適切に調整されているか	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
コールのスケジュール		
B1	Cisco TelePresence コールがグループウェアアプリケーションを介してスケジュールできることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
B2	スケジュールされた会議が IP Phone に送信されることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>

テスト番号	テストの説明	合格 / 不合格の結果
コール処理		
C1	スケジュールされたコールを Cisco TelePresence IP Phone から発信する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
C2	オーディオアドイン コールを実行できることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
C3	保留 / 再開機能を検証する (シグナリング、MOH、I-CCT のテスト)	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
C4	アドホック コールを発信する (手動、または短縮ダイヤル経由)	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
機能		
D1	Auto Collaborate Presentation (自動コラボレートプレゼンテーション) が機能しているかどうかを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
オーディオおよびビデオの品質		
F1	オーディオ品質の検証	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
F2	ビデオ品質の検証	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
コール統計情報		
E1	コール中にコール統計情報を取り込めることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
E2	コール後にログ ファイルを取り込めることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>

エクスペリエンス検証のテスト ケース

Physical logistics (物理的ロジスティック)

テスト ケース A1 : ユニット配置の検証 (距離)

概要 : Cisco TelePresence 500 システムのユニットを正しく配置することは、エクスペリエンスにとって不可欠です。この装置は、リモート参加者から参加者を見たとき、参加者の位置とサイズが適切であるように見える場所に設置する必要があります。アセンブリ マニュアルに記載の配置ガイドラインを、図 1 に示します。

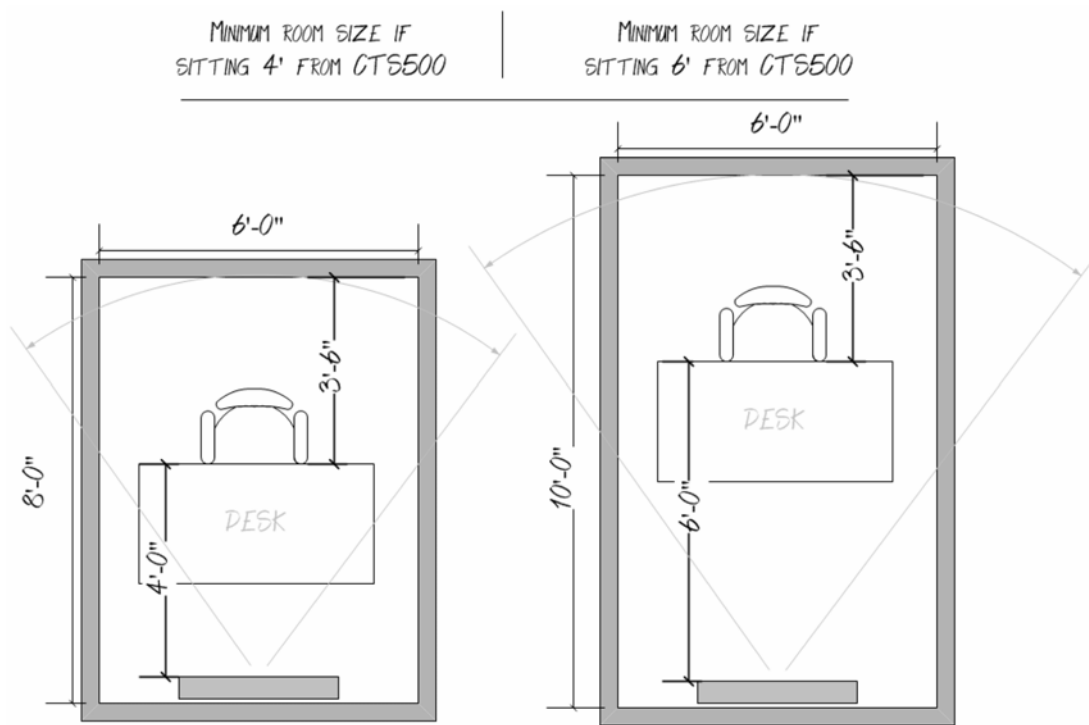


図 1 ユニットの配置

参加者は、インストレーション ガイドの指示どおり、ユニットから 1.2 ~ 1.8 M ほど離れた正しい位置にいますか？ [いいえ](#)

ユニットと参加者との距離が適正範囲内にある場合は、「合格」にチェックマークを付けてください。距離が適正でない場合は、「不合格」にチェックマークを付けてください。

A1	ユニット配置の検証 (距離)	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント :		

テスト ケース A2 : 参加者の位置の検証 (着席位置)

概要 : Cisco TelePresence 500 システムのユニットを正しく配置することは、エクスペリエンスにとって不可欠です。このユニットは、リモート参加者から参加者を見たとき、参加者の位置とサイズが適切であるように見える場所に設置する必要があります。ユニットと参加者との距離が適正であることを確認したら、ユーザがカメラのビューで中央に正しく配置されていること、およびユーザの着席時の高さが適正であることも検証する必要があります。Cisco TelePresence 500 システムには、ユーザの位置が適正であることを確認するのに役立つ、位置確認用 LED が備わっています。ユーザが着席時にこれらの位置確認用 LED のいずれかを見ることができるとき、そのユーザの位置は正しくないため、LED が見えなくなるようにシートを調整する必要があります。



図 2 Cisco TelePresence 500 システムの位置確認用 LED

参加者は、位置確認用 LED が見えない位置に正しく着席していますか？ [いいえ](#)

参加者に位置確認用 LED が見えない場合は「合格」にチェックマークを付け、見える場合は「不合格」にチェックマークを付けてください。

A2	参加者の位置の検証 (着席位置)	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント :		

テスト ケース A3 : カメラ調整の検証

概要 : Cisco TelePresence 500 システムをオンラインにする際の重要な手順の 1 つは、カメラが調整され、ホワイト バランスが適切であることの確認です。これを行うための手順は、アセンブリ ガイドに記載されています。カメラの焦点が合っていること、およびこのユニットのホワイト バランス調整が完了していることを検証してください。

カメラの焦点とホワイト バランスは、アセンブリ ガイドの指示どおりに調整されていますか？ [いいえ](#)

ユニットの調整が完了している場合は、「合格」にチェックマークを付けてください。調整が完了していない場合は、「不合格」にチェックマークを付けてください。

A3	カメラ調整の検証	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント :		

コールのスケジュール

テスト ケース B1 : Cisco TelePresence コールをスケジュールできることを確認する

概要 : Microsoft Outlook または Lotus Notes を開き、会議が今から約 20 分後に開始するように、Cisco TelePresence 500 システムおよびその他の利用可能な Cisco TelePresence ユニットを使用して会議をスケジュールします。現在の会議室での会議に、その他の Cisco TelePresence 会議室を 1 つだけ参加させることで、この手順を完了します。可能な場合には、このサイトと地理的に離れている別サイトの会議室を選択します。この会議の期間は、30 分になるようにスケジュールします。

会議が受け入れられると、会議が正常にスケジュールされたことを確認した旨の電子メールが Cisco TelePresence Manager から送信され、IP Phone にその会議が瞬時的に表示されます。

- 別の Cisco TelePresence エンドポイントで、30 分間の会議をスケジュールします。

会議は正常にスケジュールされましたか (Cisco TelePresence Manager アプリケーションから、確認メールが届きましたか) ? [いいえ](#)

この手順が失敗した場合は、Cisco TelePresence のサポート組織にその原因の調査を依頼してください。失敗しなかった場合は、下に示す「合格」にチェックマークを付けてください。何らかの異常が確認された場合は、「例外」欄に記入してください。

B1	Cisco TelePresence コールをスケジュールできることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント :		

テスト ケース B2 : スケジュールされた会議が IP Phone に送信されることを確認する

概要 : 会議が正常にスケジュールされ、さらに Cisco TelePresence Manager からの確認メールがユーザに届くと、会議室内の Cisco 7975 IP Phone に会議の情報が送信されます。この手順では、会議が電話機に正しく表示されることを検証します。

1. 会議が、スケジュールされた会議として IP Phone に現在表示されていることを検証します。

(注 : スケジュールされた会議の XML ページがデフォルトのページとして設定されていない場合は、スケジュールされた会議のページに移動するためのソフトキーを IP Phone で押す必要が生じることがあります。)

スケジュールされた会議が、Cisco 7975 IP Phone に表示されましたか? はい

この手順が失敗した場合は、Cisco TelePresence のサポート組織にその原因の調査を依頼してください。失敗しなかった場合は、下に示す「合格」にチェックマークを付けてください。何らかの異常が確認された場合は、「例外」欄に記入してください。

B2	スケジュールされた会議が IP Phone に送信されることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント :		

コール処理

テスト ケース C1 : IP Phone の「One-Button-to-Push」機能を使って、スケジュールされた Cisco TelePresence コールを発信する

概要 : この段階では、Cisco TelePresence コールが正常にスケジュールされており、会議が Cisco 7975 IP Phone に表示されています。IP Phone のタッチ スクリーンで会議を押すか、Start Meeting ソフトキーを使用して、指定された会議開始時間にコールを発信します。

コールはリモートの Cisco TelePresence 会議室に正常に接続され、双方向のオーディオおよびビデオがクリアに再生されます。このコールを、30 分の会議期間の最後まで継続させます。このコールの最中に、一部の基本的な機能を検証するとともに、一部のコール統計情報およびログ ファイルを収集します。

コールを正常に発信できましたか? はい

リモート参加者が見えますか? はい

リモート参加者の声が聞こえますか? はい

いずれかの手順が失敗した場合は、Cisco TelePresence のサポート組織にその原因の調査を依頼してください。失敗しなかった場合は、下に示す「合格」にチェックマークを付けてください。何らかの異常が確認された場合は、「例外」欄に記入してください。

C1	Cisco TelePresence コールを発信できることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント:		

テスト ケース C2 : Cisco TelePresence セッションに、別の電話ユーザを参加させることができるか確認する

概要 : Cisco TelePresence 500 システムで Cisco TelePresence コールを正常にスケジュールし、発信することができたら、次は、Cisco TelePresence 会議に音声のみの参加者を正常に参加させることができるかどうかを検証します。

次の手順を実行します。

1. Cisco 7975 IP Phone の Confrn ソフトキーを押します。
2. 携帯電話または各種固定電話の電話番号を、ダイヤルすることによって入力します。
3. Dial ソフトキーを押して、コールを開始します。この段階では、指定した番号をシステムがダイヤルしている間、Cisco TelePresence コールは保留になります。
4. 音声コールが応答されたら、Cnfr/Join ソフトキーを押して、音声参加者およびリモートの Cisco TelePresence ユニットの追加します。

携帯電話または固定電話に正しくダイヤルできましたか? [はい](#)

すべての参加者を正常に参加させることができましたか? [はい](#)

全員が他のすべての参加者の声を明確に聞き取ることができましたか? [はい](#)

上記の質問のいずれかに「いいえ」と回答した場合は、Cisco TelePresence のサポート組織にその原因の調査を依頼してください。「いいえ」がなかった場合は、下に示す「合格」にチェックマークを付けてください。何らかの異常が確認された場合は、「例外」欄に記入してください。

C2	オーディオアドイン コールを実行できることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント:		

テスト ケース C3 : コールを保留にしてから再開できることを確認する

概要 : この段階では、Cisco TelePresence コールを正常に発信しており、音声のみの参加者との会議を正常に行っています。この次の手順では、Cisco TelePresence コールの保留を正常に行えること、およびその後でそのコールを正常に再開できることを検証します。次の手順を実行します。

1. Cisco 7975 IP Phone で Hld/Resm ソフトキーを押して、コールを保留にします。
2. 1 分間待ちます。
3. Hld/Resm ソフトキーを押して、コールを再開します。

コールの保留を正常に行えましたか? [はい](#)

コールを正常に再開できましたか? [はい](#)

上記の質問のいずれかに「いいえ」と回答した場合は、Cisco TelePresence のサポート組織にその原因の調査を依頼してください。「いいえ」がなかった場合は、下に示す「合格」にチェックマークを付けてください。何らかの異常が確認された場合は、「例外」欄に記入してください。

C3	コールを保留にしてから再開できることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント:		

テスト ケース C4 : 別の Cisco TelePresence ユニットにアドホック コールを発信する

概要 : このテスト ケースでは、スケジュールされた会議を終了します。リモートの Cisco TelePresence 会議室に手動でダイヤルします。別の利用可能な Cisco TelePresence 会議室の電話番号を検索し、その会議室に Cisco TelePresence 500 システムからダイヤルします。

1. Cisco 7975 IP Phone の Manual ソフトキーを押します。
2. New Call ソフトキーを押します。
3. リモートの Cisco TelePresence ユニットの内線番号または電話番号をダイヤルします。続けて、Dial ソフトキーを押します。
4. リモートの Cisco TelePresence エンドポイント (着信番号) が、コールに自動的に応答します。
5. コールが正常に接続することを確認します。

アドホック コールを正常に発信できましたか? [はい](#)

C4	別の Cisco TelePresence ユニットにアドホック コールを発信する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント:		

機能のテスト

テスト ケース D1 : Auto Collaborate Presentation (自動コラボレート プレゼンテーション) が画面に正しく表示されるかどうかを検証する (Picture in Picture の検証)

概要 : このテスト ケースでは、Cisco TelePresence 500 システムの自動コラボレーション機能を使用して、プレゼンテーションをリモートの会議室と共有する機能について検証します。セカンダリ LCD 画面にリモートのプレゼンテーションを表示するオプションも存在しますが、このテストでは、Picture-in-Picture 機能を用いて画面にプレゼンテーションを表示するための組み込み機能が動作するかどうかを確認します。

アクティブな Cisco TelePresence コールが実行中であることを確認してください。次の手順を実行します。

1. VGA ケーブルをラップトップ コンピュータに接続してから、外部プレゼンテーションの共有を有効化する適切なキーシーケンスを押すことによって (Fn-F7)、プレゼンテーションが表示されるように設定します。

2. PiPCtrl ソフトキーを押して、画面のどの部分にプレゼンテーションを表示するかを選択します（図 3 を参照）。

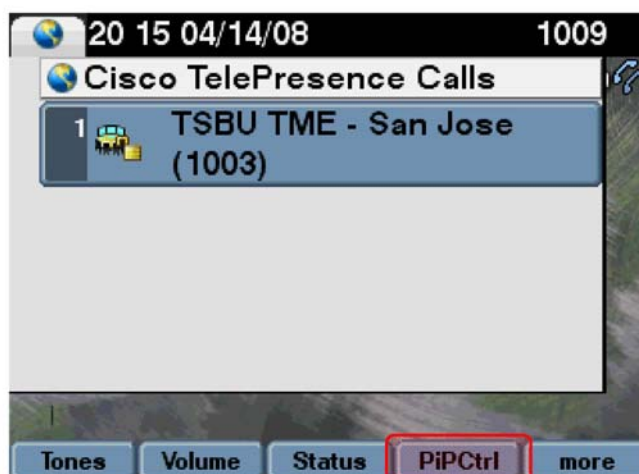


図 3 アクティブ コール中の Cisco 7975 IP Phone のインターフェイス

3. 一番左から 3 つ目までのボタンのうちの 1 つを押して、Picture in Picture の位置を選択します（図 4 を参照）。4 つ目のボタンは、プレゼンテーションを画面に表示しない場合に使用します。



図 4 Picture in Picture 選択時の Cisco 7975 IP Phone のインターフェイス

4. 画面上の目的の位置に、プレゼンテーションが表示されます。

画面にプレゼンテーションが正常に表示されましたか？ はい

D1	Auto Collaborate Presentation（自動コラボレート プレゼンテーション）が機能しているかどうかを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント：		

オーディオおよびビデオの品質

テスト ケース F1：オーディオ品質の検証

概要： Cisco TelePresence 500 システムは、忠実度の高いコーデックを使用して、CD と同等のオーディオ品質をユーザに提供します。ここでは、これまでに実行したすべてのテスト コールに基づいて、オーディオ品質が良質であることを検証します。

このテスト プランの実行中に生成されるすべてのテスト コールのオーディオ品質を、次の中から選んでください。

- とても良い
- 良い
- 普通
- 悪い
- とても悪い

下の欄に、コールの音声品質に関する問題のタイプ（エコー、リバーブ、低音量、合成音、金属音）を記入してください。

問題の説明：問題の内容をここに記入してください。

オーディオ品質が普通レベルを上回っている場合は、「合格」にチェックマークを付けてください。

F1	すべてのコールのオーディオ品質が許容範囲内にあることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント：		

テスト ケース F2：ビデオ品質の検証

概要： Cisco TelePresence エンドポイントを結ぶネットワークがビデオ対応であり、パス内のすべてのデバイスが正しく検証および設定されている場合、ビデオ品質は良質であるはずですが、このテストでは、画質が良質であるかどうかを検証します。

このテスト プランの実行中に生成されるすべてのテスト コールのビデオ品質を、次の中から選んでください。

- とても良い
- 良い
- 普通

- 悪い
- とても悪い

下の欄に、ビデオ品質に関して発生した問題（コマ送り状態、動画の静止化、カラー バランスなど）を記入してください。

問題の説明：問題の内容をここに記入してください。

ビデオ品質が普通レベルを上回っている場合は、「合格」にチェックマークを付けてください。

F2	ビデオ品質を検証する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント：		

コール統計情報の検証

テスト ケース E1：コール中にコール統計情報を収集する

アクティブ コール中に、下に示す表の項目すべてを記入します。数値は、コーデックのコール統計情報ページから収集できます（図 5 を参照）。

表 2 の統計情報をすべて収集できた場合は、「合格」にチェックマークを付けます。何らかの理由で統計情報を収集できなかった場合は、「不合格」にチェックマークを付け、「例外」欄にその内容を記入します。

<input type="checkbox"/> Audio/Video Call: Audio Stream Statistics				
<input checked="" type="checkbox"/> Audio/Video Call: Video Stream Statistics				
Local	10.82.75.132:16388			
Remote	10.80.53.253:16388			
Average Latency (Call)	6			
Average Latency (Period)	6			
	Left	Center	Right	Auxiliary
Transmit				
Is Active	1	1	1	0
Total Bytes	481638412	524740549	508341288	0
Total Packets	415378	459040	455441	0
Receive				
Is Active	1	1	1	0
Total Bytes	482915280	456338408	351892753	0
Total Packets	420277	399949	303611	0
Lost Packets	0	0	0	0
Lost Packets % (Call)	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
Lost Packets % (Period)	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
Out of Order Packets	0	0	0	0
Duplicate Packets	0	0	0	0
Late Packets	0	0	0	0
Average Jitter (Call)	4	8	4	0
Average Jitter (Period)	3	6	5	1

図 5 ビデオ コール統計情報ページ

表2 コール統計情報の表

	センター	補助
平均遅延時間	0 秒	
音声パケット損失	0.000 %	0.000 %
音声平均ジッタ	0	0
ビデオパケット損失	0.000 %	0.000 %
ビデオ平均ジッタ	0	0

E1	コール中に GUI からコール統計情報を収集できることを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント:		

テスト ケース E2 : システムからログ ファイルを収集する

この最終テスト ケースでは、Cisco TelePresence 500 システムからログ ファイルを収集します。このログ ファイルは、本書と一緒に提出していただく必要があります。

1. ブラウザで、Cisco TelePresence Administration Web ページにログインします。
2. 左側のナビゲーション ペインから、Log Files を選択します。3 つのタブが表示され、それぞれに Cisco TelePresence システムから、システム オペレーション (sysop) ログ ファイル、セッション開始プロトコル (SIP) メッセージ、およびログ ファイルが表示されます。これらの内容を表示するには、ウィンドウ上部の Log Files タブをクリックします。
3. 要求された情報をフォームに入力した後、Capture Log Files をクリックして、適切なログ ファイルを収集します。収集プロセスが完了したら、Download Log Files をクリックして、ファイルのダウンロード プロセスを開始します。Cisco TelePresence System Administration ソフトウェアにより、ログ ファイルを表示するか、または保存するかを確認を求めるプロンプトが表示されます。ファイルをマシンに保存します。

E2	コール後にシステムからログ ファイルを取り込めるかを確認する	合格 <input type="checkbox"/> 不合格 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/>
例外またはコメント:		

CISCO CONFIDENTIAL INFORMATION

THIS DOCUMENT CONTAINS VALUABLE TRADE SECRETS AND CONFIDENTIAL INFORMATION OF CISCO AND ITS SUPPLIERS, AND SHALL NOT BE DISCLOSED TO ANY PERSON, ORGANIZATION, OR ENTITY UNLESS SUCH DISCLOSURE IS SUBJECT TO THE PROVISIONS OF A WRITTEN NONDISCLOSURE AND PROPRIETARY RIGHTS AGREEMENT OR INTELLECTUAL PROPERTY LICENSE AGREEMENT APPROVED BY CISCO. THE DISTRIBUTION OF THIS DOCUMENT DOES NOT GRANT ANY LICENSE IN OR RIGHTS, IN WHOLE OR IN PART, TO THE CONTENT, THE PRODUCT(S), TECHNOLOGY OF INTELLECTUAL PROPERTY DESCRIBED HEREIN.

Low Level Design

Copyright © 2004-7, Cisco

All rights reserved.. Cisco, Cisco, and the Cisco logo are registered trademarks or trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and certain other countries
CISCO CONFIDENTIAL INFORMATION

付録 A

コール統計情報収集の手順

- GUI を使用（スクリーンショットによる手順説明を含む）
- CLI を使用（収集手順に関するコマンドラインのスクリーンショットを表示）

用語集

その他の用語については、次の URL で、『CCO Internetworking Terms and Acronyms Guide』を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/cisintwk/ita/index.htm>

承認欄

氏名 _____
役職名 _____
会社名 _____
署名欄 _____
日付 _____

氏名 _____
役職名 _____
会社名 _____
署名欄 _____
日付 _____

氏名 _____
役職名 _____
会社名 _____
署名欄 _____
日付 _____

氏名 _____
役職名 _____
会社名 _____
署名欄 _____
日付 _____

氏名 _____
役職名 _____
会社名 _____
署名欄 _____
日付 _____

氏名 _____
役職名 _____
会社名 _____
署名欄 _____
日付 _____



Americas Headquarters
Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA
www.cisco.com
Tel: 408 526-4000
800 553-NETS (6387)
Fax: 408 527-0883

Asia Pacific Headquarters
Cisco Systems, Inc.
168 Robinson Road
#28-01 Capital Tower
Singapore 068912
www.cisco.com
Tel: +65 6317 7777
Fax: +65 6317 7799

Europe Headquarters
Cisco Systems International BV
Haarlerbergpark
Haarlerbergweg 13-19
1101 CH Amsterdam
The Netherlands
www-europe.cisco.com
Tel: +31 0 800 020 0791
Fax: +31 0 20 357 1100

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco Systems, Inc. All rights reserved. CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, IQ Expertise, the IQ logo, IQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARtNet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0609R)